報告事項ア

平成28年度第2回いじめ・不登校対策本部会議の概要について

平成28年度第2回いじめ・不登校対策本部会議の概要について別紙のとおり報告します。

平成28年11月8日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

平成28年度第2回いじめ・不登校対策本部会議の概要について

平成28年11月8日 いじめ・不登校総合対策センター

平成25年度から、いじめの問題、不登校問題への対応・未然防止に向けた対策について、県教育委員会関係課等をあげて取り組むため「いじめ・不登校対策本部会議」を設置していますが、国の調査結果公表を受け、下記のとおり開催しました。

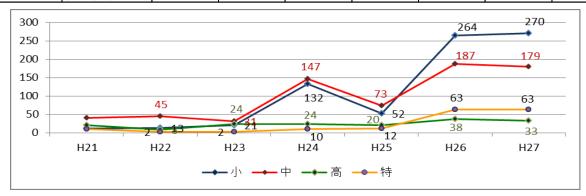
- 1 日時 平成28年10月27日(木)午後4時から午後5時15分まで
- 2 場所 教育委員室
- 3 出席 教育次長、関係課長9名、各教育局3名、他関係職員6名
- 4 主な内容

〇平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果の概要について

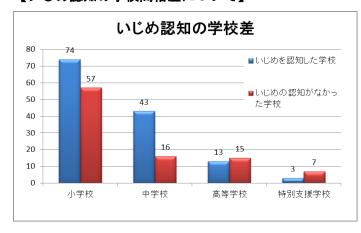
- (1) 平成27年度いじめの状況について
- ① いじめの状況について

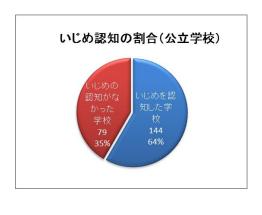
【いじめ認知件数の推移】

ſ,	いじめ		H22	H23	H24	H25	H26	H27
鳥取県 (国公私立)	小	12	13	21	132	52	264	270
	中	40	45	31	147	73	187	179
	高	21	8	24	24	20	38	33
	特	10	2	2	10	12	63	63
	計	83	68	78	313	157	552	545
	認知件数/千人	1.2	1.0	1.2	4.8	2.4	8.7	8.7
全国(国公私立)	小	34,776	36,909	33,124	117,384	118,748	122,721	151,190
	中	32,111	33,323	30,749	63,634	55,248	52969	59,422
	高	5,642	7,018	6,020	16,274	11,039	11404	12,654
	特	259	380	338	817	768	963	1,274
	計	72,788	77,630	70,231	198,109	185,803	188057	224,540
	認知件数/千人	5.1	5.5	5.0	14.3	13.4	13.7	16.4



【いじめ認知の学校間格差について】





②いじめ問題への取組

- ・認知件数は昨年度と同程度であり、学校では引き続き積極的に認知しているが、学校による格差が見られる。
- ・いじめを積極的に認知することは、困っている子、悩んでいる子に手をさしのべることである。マイナスにとらえるのではなく、積極的な認知によって安心できる学校づくりにつなげていくように、 教職員の意識を高める。
- ・各学校が策定した「いじめ防止対策基本方針」を確認し、認知件数にいれていないケースはないか、 相互に確認する機会を持つ。
- ・アンケートの回数や方法を工夫するなどして、全学校で活用されるように呼びかけていく。

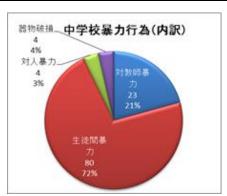
(2) 平成27年度暴力行為の状況について

①暴力行為の状況について

【暴力行為の発生件数の推移】

暴	力行為	14 年 度	15 年 度	16 年 度	17 年 度	18 年 度	19 年 度	20 年 度	21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度	26 年 度	27 年 度	前年比増減
	小	3	4	13	4	13	6	3	13	13	11	37	37	31	61	+30
鳥	中	118	151	142	97	76	65	90	123	115	106	78	86	91	114	+23
取	高	40	33	63	38	61	50	59	61	68	56	64	52	64	41	-23
県	計	161	188	218	139	150	121	152	197	196	173	179	175	186	216	+30
ホ	発生件数 /千人	2.2	2.6	3.1	2.0	2.2	1.9	2.3	3.1	3.1	2.8	3.0	3.0	3.2	3.5	
全 国	発生件数 /千人	2.5	2.7	2.6	2.6	3.1	3.7	4.2	4.3	4.6	4.2	4.2	4.3	4.0	4.2	





②暴力行為問題への取組

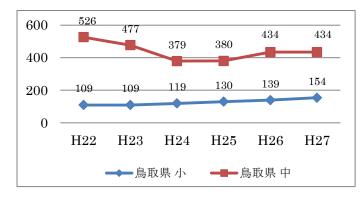
- ・小学校では平成24年度以降継続して30件を越え、平成27年度で過去最高の数値となっている。
- ・小・中学校ともに生徒間暴力、対教師暴力をあわせると小学校76%、中学校93%と高い割合を占めている。。
- ・自分の気持ちをコントロールすることが苦手な子、ストレスを人にぶつけてしまう子が増えており、 心の発達を支える取組が必要である。

(3) 平成27年度不登校の状況について

①不登校の状況について

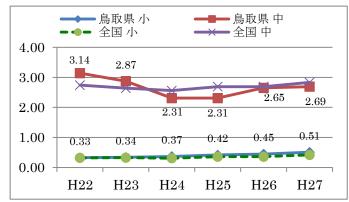
【不登校児童生徒数の推移(国公私立)】

不登	校	H22	H23	H24	H25	H26	H27
鳥取県	小	109	109	119	130	139	154
	中	526	477	379	380	434	434



【不登校出現率 (国公私立)】

不登	校	H22	H23	H24	H25	H26	H27
鳥取県	小	0.33	0.34	0.37	0.42	0.45	0.51
	中	3. 14	2.87	2.31	2.31	2.65	2.69
全国	小	0.32	0.33	0.31	0.36	0.36	0.42
	中	2.74	2.64	2.56	2.69	2.69	2.83



②不登校問題への取組

- ・平成26年度と比べ、小学校が15人増加(出現率0.06%上昇)、中学校が増減0(出現率0.04%上昇)という状況である。
- ■支援シート等個別の復帰プランを立てて関わるとともに、校種間の連携や引継ぎ等もていねいに行っていく。
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と協働して児童生徒に関わっていく。